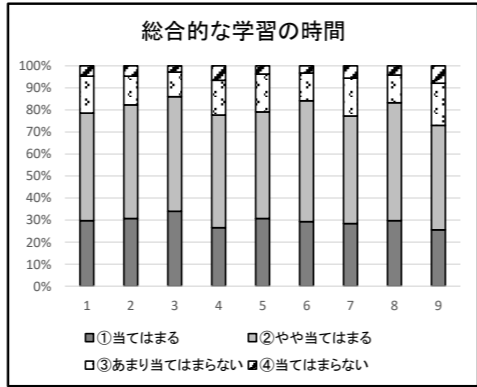
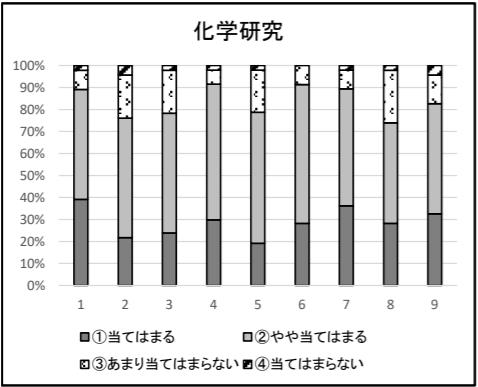
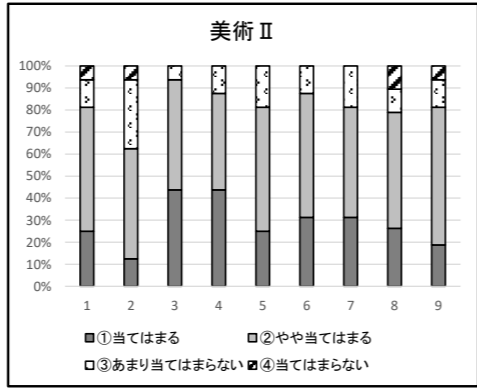
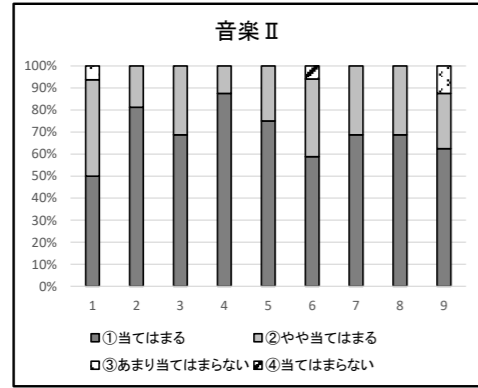
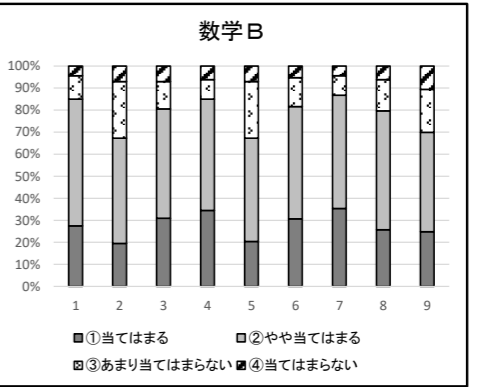
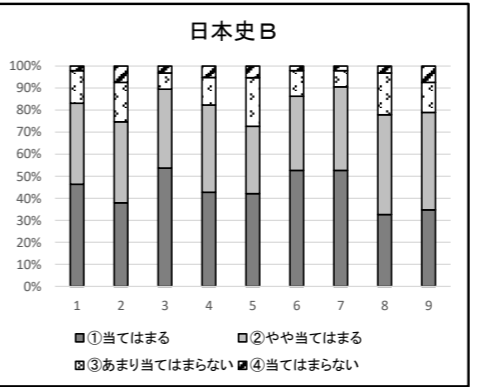
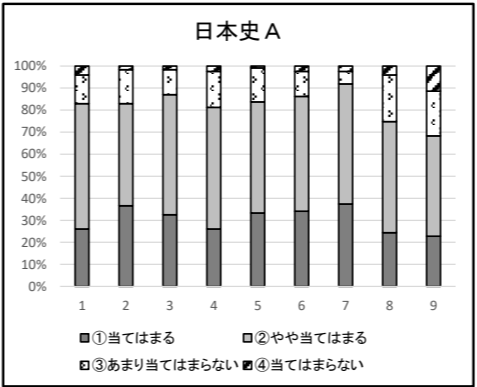
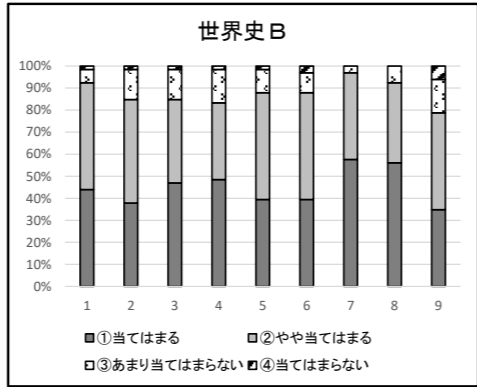
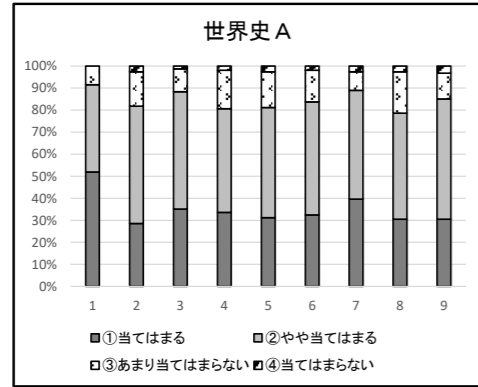
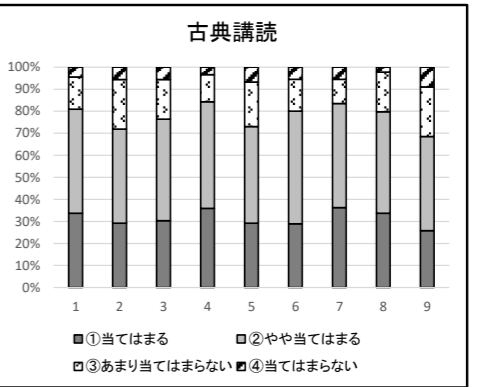
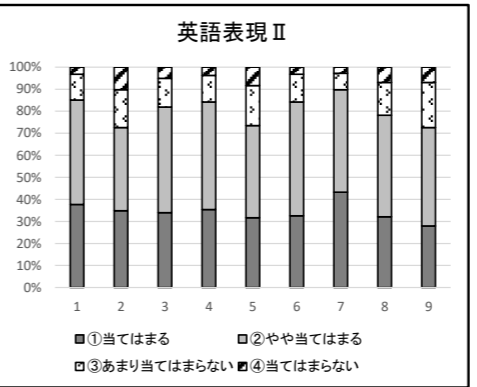
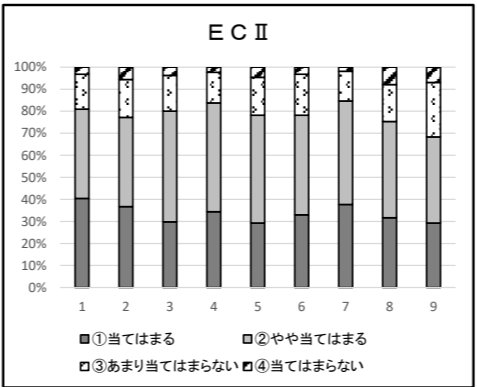
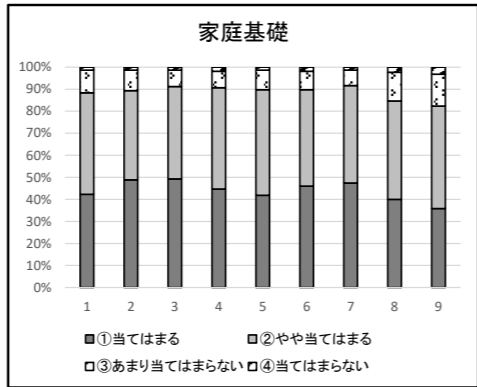
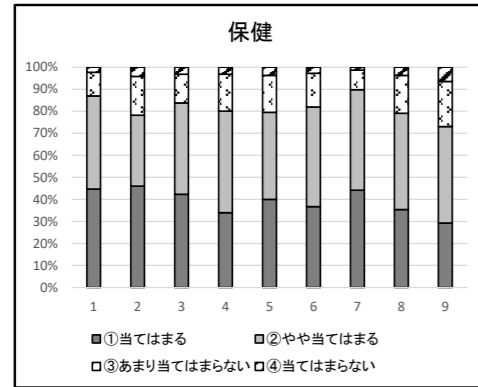
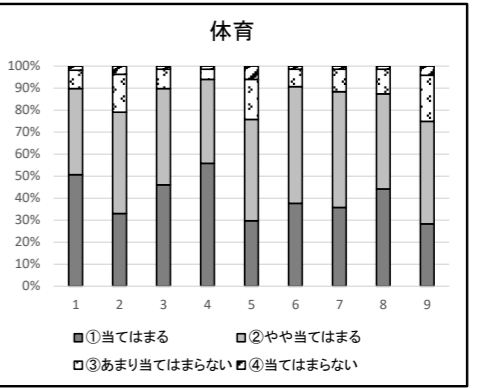
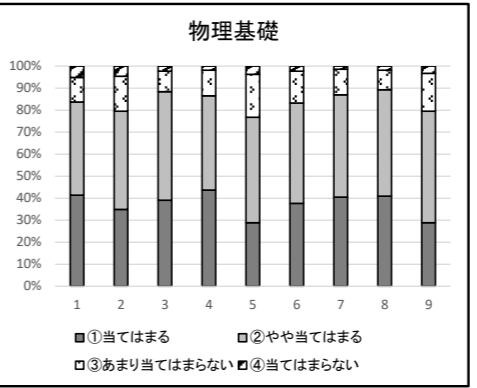
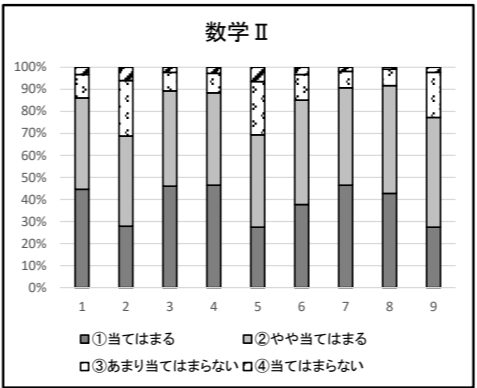
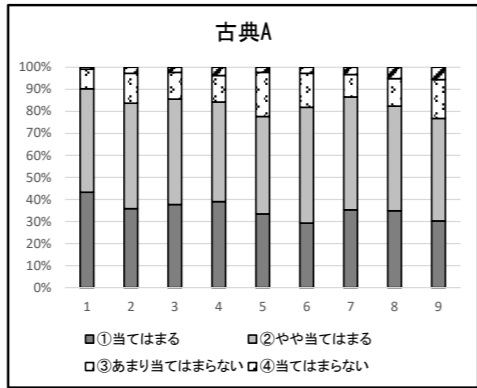
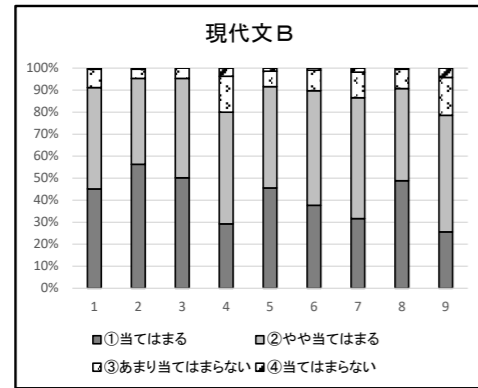


令和4年(2022)年度 第1回「生徒による授業評価」集計結果 2学年(7月実施)



●グラフについて
各設問について、「①当てはまる」、「②やや当てはまる」、「③あまり当てはまらない」、「④当てはまらない」の割合を示しています。

●設問について
【授業の在り方について】
問1. 毎時間の授業のはじめに学習のねらいを示したり、学習したことを振り返ったりする機会がある。
問2. 学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある。
問3. 授業の中で、課題に対して自分がどのように感じたり考えたりするかをまとめたり、解決方法について考える場面がある。

【学習の状況について】
問4. 授業の中で身についたことや、できるようになったことを実感することができた。
問5. 授業の中で他の人の考えを聞いたり読んだりして、自分の考えが広まった、深まったと思いますか。
問6. 授業で学んだことに対する自分の考えを書いたり、新しい問題を解決する方法を考えたりすることができましたか。
問7. 授業で学んだことを、これまでに学んだことと関連付けて理解することができた。

【生徒への接し方】
問8. 先生は、生徒一人ひとりに目を配ってきめ細かく指導している。

【授業の形態】
問9. 授業の形態・評価方法等が「新しい授業」を感じられるものになっている。

